

|                    |   |  |        |
|--------------------|---|--|--------|
| 開講年度               | 令和8年度   | 開講課程   | 博士前期課程 |
| 授業名                | 総合医療医学特別演習  |  |        |
| 開講キャンパス            | 紀三井寺  | 教室   | 各研究室   |
| 科目区分               | 特別科目  | 配当年次   | 1～2年次  |
| 必修・選択の別            | 選択  | 単位   | 2単位    |
| 対象学生               | —   | 使用言語   | 日本語    |
| キーワード              | (放射線医学) 画像診断<br>(リハビリテーション医学) リハビリテーション医学、運動療法、理学療法、作業療法、言語聴覚療法<br>(救急・集中治療医学) ガイドライン、標準化、アルゴリズム<br>(麻酔科学) 周術期  |  |        |
| 担当教員<br>(下線：科目責任者) | 医   | (放射線医学) 教授 土井啓至、准教授 生駒 顕<br>(リハビリテーション医学) 教授 幸田 剣、講師 坂野元彦<br>(救急・集中治療医学) 教授 井上茂亮、准教授 上田健太郎、講師 米満尚史、講師 宮本恭兵<br>(麻酔科学) 教授 <u>川股知之</u> 、准教授 時永泰行、准教授 神田浩嗣、講師 山崎亮典 |        |
|                    | 薬   |  |        |
| 授業の概要              | 放射線医学、リハビリテーション医学、救急・集中治療医学、麻酔科学の各分野において講義及び演習を行う。本演習では、内科・外科にとらわれない総合医療医学の各分野における主要テーマについて文献を読み、専門的知識及び基礎・臨床研究の手法について学ぶとともに、臨床知識・技術を修得する。またディスカッションを行うことにより、自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。 |  |        |
| 到達目標               | (放射線医学)<br>主要な疾患の典型的な画像所見を理解する。<br><br>(リハビリテーション医学)<br>総合力のある、リハビリテーション医学・医療の視点を理解する。<br><br>(救急・集中治療医学)<br>救急医学の視点で疾病・疾患の治療手順を見直すことができる。<br><br>(麻酔科学)<br>周術期医療に関する論文を理解できる。                          |  |        |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <p>授業計画</p>                    | <p>(放射線医学)<br/>CTやMRIなどを用いた画像診断の論文を読み、討議する。(土井啓至／生駒 顕)</p> <p>(リハビリテーション医学)<br/>幅広い視野にたったリハビリテーション医学・医療の概要を理解し、総合力を高める演習を行う。(幸田 剣／坂野元彦)</p> <p>(救急・集中治療医学)<br/>標準化された救急医療に関する知識を習得し、その教育技法について学ぶ。救急診療におけるデータベース構築のあり方と集積されたデータに基づいた標準化された診療の成り立ちを学ぶ。(井上茂亮／上田健太郎／米満尚史／宮本恭兵)</p> <p>(麻酔科学)<br/>周術期医療における主要テーマについて文献を読み、専門的知識及び基礎・臨床研究の手法について学ぶとともに、臨床知識・技術を修得する。またディスカッションを行うことにより、自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。(川股知之／時永泰行／神田浩嗣／山崎亮典)</p> |
| <p>授業の方法・形態</p>                | <p>演習を中心とする。</p>   |
| <p>使用するメディア</p>                | <p>パワーポイント等によるスライド資料を使用する。</p>   |
| <p>成績評価の基準</p>                 | <p>研究への取組100%(討議内容、ディスカッションへの参加姿勢、研究技能の修得状況、発表内容など)によりS(90点以上)、A(80～89点)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下)の5段階で評価し、C以上を合格とする。</p>   |
| <p>授業時間外の学修に関する指示</p>          | <p>教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。</p>  |
| <p>オフィスアワー(学生からの質問事項等への対応)</p> | <p>担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。</p>   |
| <p>教科書・参考書</p>                 | <p>(放射線医学) 特に指定しない。</p> <p>(リハビリテーション医学)<br/>【参考書】「リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版」<br/>監修：一般社団法人 日本リハビリテーション医学教育推進機構<br/>公益社団法人 日本リハビリテーション医学会<br/>出版社：医学書院<br/>「総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト」<br/>総編集：久保 俊一、田島 文博<br/>出版社：日本リハビリテーション医学教育推進機構</p> <p>(救急・集中治療医学)<br/>【参考書】「救急診療指針 改定第5版」 監修：日本救急医学会<br/>出版社：へるす出版</p> <p>(麻酔科学) 特に指定しない。</p>   |